

第2回 清和台地区学校のあい方を検討する懇話会



令和7年5月27日
於:清和台南小学校
午前10時～

はじめに

第2回懇話会のゴール

1. 教職員との意見交換会での意見を報告し、意見交流をする。
2. 保護者との意見交換会の具体的な実施方法について情報共有する。

目 次

1. 教職員との意見交換会の意見等について

- (1) 小規模校の業務について
- (2) 小規模校の教育について

2. 保護者との意見交換の方法について

目次

1. 教職員との意見交換会の意見等について

- (1) 小規模校の業務について
- (2) 小規模校の教育について

- ① 良い面
- ❶ 難しい面
- ❶ どちらの面もある

2. 保護者との意見交換の方法について

(1)小規模校の業務について

教職員の意見

学校運営について

- ①子どもも教員も少ないため、子どもの希望するクラブや委員会(児童会活動)が設置できない。
- ②1学年だけで校外学習に行くと、バス代が高くなる。
- ③1年生の下校指導や校外学習で教員の人数が足りず、引率が難しい。
- ④空き教室が多いため、不審者対応や避難誘導など、近くの教室から応援を呼ぶことができない。
- ⑤体調不良等で教員が休む場合、代替授業や給食指導などの対応が難しい。

委員会設置数(例)

【1学年1学級規模】 5～6委員会

代表、図書、放送、給食、体育、保健

【1学年2学級規模】 7～11委員会

代表、図書、放送、給食、体育、保健、掲示、美化
園芸、生活、縦割り活動

クラブの設置数(例)

【1学年1学級規模】 6～8クラブ

バレー、バドミントン、サッカー、パソコン、卓球、ダンス、手芸、野球

【1学年2学級規模】 7～14クラブ

バレー、バドミントン、サッカー、パソコン、卓球、ダンス、ドッジボール、一輪車
理科実験、将棋、マンガ、音楽、クッキング、写真

校外学習バス代(例)

【1学年25人】 バス1台10万円 $10万 \div 25 = 4,000円$

【1学年80人】 バス2台20万円 $20万 \div 80 = 2,500円$

(1) 小規模校の業務について

教職員の意見

学校運営について

⑥教員が受け持つ一人あたりの校務分掌数が多くなり、出張も増える。

校務分掌(例)

【1学年1学級規模】教員A・・・校内研修、生活・総合、視聴覚

教員B・・・安全指導、体育、地区別児童会、職員作業

1学年1学級規模の学校に比べて、1学年2学級規模では教員数が多くなるため、校務分掌を他の教員が分担して受け持つことができ、一人が持つ校務分掌の数が減る。

【1学年2学級規模】教員A・・・校内研修

教員B・・・安全指導、生活・総合

教員C・・・視聴覚、地区別児童会

教員D・・・体育

※校務分掌の数は、市内・市外で集まる機会もあるため、学校独自で減らす事は難しい。

※校務分掌の数を減らしたとしても、業務内容を細分化するかの違いであり、業務負担が軽減される事にはつながらない。

(1) 小規模校の業務について

教職員の意見

学年運営について

- ① 学年団の教員が少ないため、学年業務を少ない人数で分担することになる。
- ② 学年担任が一人であるため責任が重く、相談相手もないため、担当学年を未経験の場合には受け持つことが難しい。
- ③ 生活指導の際、複数の教員で対応することが難しい。
- ④ 学年担任が一人であるため、担任が考えたことをすぐに実行できるが、一人ですべてを進めるため、見落としや間違いに気付けない不安もある。

学年業務分担について

(例) 主な6年生の学年業務

・修学旅行の計画、実施 ・運動会、音楽会の計画、指導 ・卒業式の計画、指導
・学年行事(球技大会など) ・学年通信 ・校外学習 ・学年会計 など

1学年1学級規模の学校

(例) 6年生担当 ⇒ 2名で分担する

6-1担任

専科 or 特別支援

1学年2学級規模の学校

(例) 6年生担当 ⇒ 3または4名で分担する

6-1担任

専科 or 特別支援

6-2担任

専科 or 特別支援

(1) 小規模校の業務について

教職員の意見

授業について

- ① 授業進度や授業内容など、相談できる人がいないため、自分の指導が合っているか不安。
- ② 自分のやり方や経験で進めるしかなく、同じ学年の教員から学ぶ機会を持ちにくい。
- ③ 運動場や体育館など、施設を自由に使いやすい。
- ④ 教科担任制で複数学年の授業を受け持つため、教材研究の負担が軽減されない。

教科担任制には、

(1) 専科教員による教科担任制 《音楽、図工、英語 など》

(2) 担任間の授業交換による教科担任制

※担任が担当するクラスを交換し、専門とする教科を、担任するクラス以外でも教える仕組み。

(例) 6-1担任⇒6-1, 6-2社会担当 6-2担任⇒6-1, 6-2体育担当

の2種類がある。

教科担任制導入の目的・趣旨や効果について

- ア. 授業の質の向上
- イ. 小・中学校間の円滑な接続
- ウ. 多面的な児童理解
- エ. 教師の負担軽減

《参照 小学校高学年における教科担任制に関する事例集 文部科学省》

担任間の授業交換による教科担任制について

1学年2学級以上の学校は、学年で教科担任制を実施

1学年2学級規模の学校

(例)6年で担任間の授業交換による教科担任制

6-1担任
⇒6年国語、社会

6-2担任
⇒6年算数、体育

1回の教材研究で1組と2組で授業を行うことができるため、教材研究の時間を確保しやすい。

1学年2学級規模の学校

(例)6-1の時間割 ※赤字…担任以外の授業

1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目	6時間目
国語	算数	音楽	社会	体育	道徳

(例)6-1担任の1日の時間割

1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目	6時間目
6-1 国語	6-2 国語	授業 準備	6-1 社会	6-2 社会	6-1 道徳

1学年1学級では、学年内で教科担任制を実施できないため、学年を超えて実施

1学年1学級規模の学校

(例)5・6年で担任間の授業交換による教科担任制

5-1担任
⇒5・6年体育

6-1担任
⇒5・6年社会

5年生と6年生で内容が異なるため、2学年分の教材研究を行う必要があり、時間がかかる。

1学年1学級規模の学校

(例)6-1の時間割 ※赤字…担任以外の授業

1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目	6時間目
国語	算数	音楽	社会	体育	道徳

(例)6-1担任の1日の時間割

1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目	6時間目
6-1 国語	6-1 算数	授業 準備	6-1 社会	5-1 社会	6-1 道徳

(2) 小規模校の教育について

教職員の意見

小規模校の良い面

- ①異学年で交流しやすい。お互いが顔を知っているため、つながりが強く、異学年でも仲が良い。
- ②人数が少ないことで、一人ひとりが主役となれる機会が増え、自尊心の高い児童が多いと感じる。
- ③子どもたちの人間関係が順調であれば、学年運営が行いやすい。
- ④異学年で交流することにより、上の学年を見て、下の学年が憧れの気持ちを持ち、自然と磨かれていく。
- ⑤大きな行事であっても、人数が少ないため、指導しやすい。

小規模校の難しい面

- ①クラス替えがないため、新年度に「心機一転がんばろう」という意識を持ちにくく、お互いの見方や人間関係が固定化されてしまう部分がある。
- ②親しい友達と離れる状況を経験していないため、中学校で急に人数が増えると大人数の中で耐えられない子がいるのではと心配。
- ③子ども同士の大きなトラブルなど、人間関係でつまづきがあっても、逃げ場がない。
- ④クラス間の交流がないため、学年全体で競い合ったり高め合ったりする機会がない。雰囲気を変えて気持ちを高めたり引き締めたりする指導も難しい。
- ⑤教員の数が少ないために、子どもや保護者が相談できる相手も少なくなる。
- ⑥行事が寂しく見えないよう、2学年合同で実施するなどの工夫が必要である。

感想や質問など

説明させていただいた『教職員との意見交換』についての感想や、質問など
があれば、お聞かせいただければと思います。

目次

1. 教職員との意見交換会の意見等について

- (1) 小規模校の業務について
- (2) 小規模校の教育について

2. 保護者との意見交換の方法について

保護者との意見交換の方法について

小学校保護者対象 意見交換会 《座談会形式》

清和台小学校

時期 6月18日(水) 9時～

清和台南小学校

時期 7月10日(木) 10時～

テーマ 1学年1学級となっている現状の学校生活について、
良いところや困っていることを意見交換する。

開催方法

- ①清和台地区の現状について、簡単に説明をする。
- ②1学年1学級の現状の学校生活について、良いところを聞く。
- ③1学年1学級の現状の学校生活について、困っているところを聞く。
※近くの方とグループを作り、相談する時間を取り、それぞれのグループから意見を言っていたく。
- ④学校規模についての質疑応答をする。

保護者との意見交換の方法について

小学校保護者対象 意見交換会 《個別意見交換形式》

清和台小学校

時期 7月3日(木)、7月4日(金)、7月7日(月)、7月8日(火)

清和台南小学校

時期 6月19日(木)、6月20日(金)、6月23日(月)、6月24日(火)

※個人懇談開催日 14時～ 随時、意見交換を実施
自由記述のアンケートもあわせて実施

テーマ 1学年1学級となっている現状の学校生活について、
良いところや困っていることを意見交換する。

開催方法

14時から教育委員会が学校の1室に待機し、懇談に来た保護者に立ち寄っていただき、随時、意見や質問を聞いていく。

※懇談の帰りに保護者の方に声かけし、アンケートの提出ならびに意見交換会への出席をお願いする。

保護者との意見交換の方法について

就学前施設保護者対象 意見交換会

時期 7月～8月、参観日等、保護者が来る日で日程調整

場所 各就学前施設

対象 清和台地区に在住の就学前施設に通う保護者

テーマ

1学年1学級の小学校のイメージや質問を聞いて意見交換する。

周知方法

就学前施設より、各家庭に案内文を配布する。

開催方法

- ①清和台地区の小学校の現状について、簡単に説明をする。
- ②学校生活や学校規模について、質疑応答をする。

保護者との意見交換の方法について

未就学児保護者対象 意見交換会

時期	未就学児保護者が集まりやすい日時
場所	小学校
対象	清和台地区に在住の未就学児保護者(就学前施設に通う保護者を含む)
テーマ	1学年1学級の小学校のイメージや質問を聞いて意見交換する。

周知方法

- ①就学前の家庭に案内文を郵送にて通知する。
- ②子育てサークルなどを通じて、開催を伝える。

開催方法

- ①清和台地区の小学校の現状について、簡単に説明をする。
- ②学校生活や学校規模について、質疑応答をする。

児童との意見交換の方法について

児童対象 意見交換会

時期 7月頃～2学期にかけて学校と相談して日時を決める。

対象 清和台小学校、清和台南小学校 4～6年生

目標 自身の経験からだけでなく、調べて得た知識や他者の考えをふまえ、地域の学校の今後について、自分なりの考えをもつ。

学習の流れ(例)

- ①清和台地区の学校の現状について学ぶ。
- ②様々な規模の学校がある事を学ぶ。
- ③自分たちの学校(1学年1学級)の良さや困ったことを考える。
- ④様々な学校の状況を聞き、比べて考え、自分の考えを深める。
- ⑤まとめた自分の考えを発表する。

※現在、各学校の先生と時期や流れを相談中

次回 懇話会の予定

次回予定

日時 7月末

内容 1. 保護者との意見交換会での意見を報告し、意見交流をする。

※1その他、懇話会で議題にしたい内容があれば、6月13日(金)までにメールにて教えて下さい。それを議題とし、話し合いたいと思います。

※2これから、他市の学校への視察など、懇話会での取り組みができればと考えています。